



東京都済生会中央病院附属乳児院 2019 年度 第 3 号 2019.12.31.発行



東京都済生会中央病院附属乳児院 院長 山中一郎

今年も子どもたちと一緒に、1 年を無事に過ごすことが出来ました。まだまだ寒い日が続いていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

子どもたちは、10 月 19 日に恒例の遠足に行ってきました。あいにくの雨模様のため、目的地をマザー牧場からしながわ水族館に変更しましたが、かわいいイルカの赤ちゃんやヨチヨチ歩きのペンギン、アザラシやアシカのショーに大満足の様子でした。ご参加いただいたボランティアの皆様、ありがとうございました。

11 月 21 日には、「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」と、第 2 回ふれあいコンサートを外来棟 1 階のホスピタルストリートで演奏を行っていただきました。子どもたちはオーボエ、ヴァイオリン、ピアノの生演奏聞き、『きらきら星』に合わせて手を振ったり、たたいたり、ピアノを覗き込んだりしてとても楽しい時間を過ごしました。

最後になりますが、日頃よりボランティアの方々をはじめ、関係者の皆様には大変お世話になっております。子どもたちが元気に笑顔で暮らせるのも、皆様方のおかげと感謝しております。今後とも、ご支援をよろしくお願いいたします。

## 理 念

「済生の精神」に基づいた思いやりのある養育の提供を通じて社会に貢献します。  
（「済生の精神」とは、分け隔てなくあらゆる人々に手を差し伸べることです）

## 基 本 方 針

1. 子どもが安心できる環境の中で、個性を尊重し、愛情を注いで養育します。
2. 愛着関係を大切にし、情緒豊かな子どもに育てます。
3. 感動や成功体験を通し、自立心を養っていきます。
4. 子どもの成長の喜びを保護者と共有し、親子関係を大切にしながら養育します。
5. 乳児院職員として、向上心や探究心を持ち、人間性・専門性を高めていきます。

【0～3 歳児の育児にお困りの方へ】 当院では育児相談を平日 9～16 時に受け付けています。詳しくは下記までご連絡ください。 TEL 03-3451-8289（直通） 担当 小泉看護師長代理

【建て替え寄付金について】 当院では建て替えに伴い寄付金を募っています。ご協力お願いします。詳しくは下記までご連絡ください。 TEL 03-3451-8289（直通） 担当 事務 国府田



# 秋の思い出 ～運動会&遠足～



9月19日(木) 病院 13 階ラウンジにて運動会を行いました。体操服に着替えて、幼児さんだけでなく、



乳児さんもプログラムに参加しました。大人と子どもが1対1で行う『マッスルアニマル体操』というふれあい体操から始まり、乳児さんによる『ハイハイ競争』、幼児さんの低月齢チームによる『ゴークート競争』、幼児さんの高月齢チームによる『大玉転がし』など、子どもたちも大きな声で「がんばれー！」と声援を送りました。たくさん応援した後は、おやつタイムでジュースやお菓子を楽しみ、最後は子どもたちが大好きな『たけのこ体操』をみんなで踊りました。子どもたちは楽しみながら身体をたくさん動かして、お友だちと一緒に楽しく競

技に参加することができました。

ご参加いただいた保護者の皆様、多くのボランティアの皆様、一緒に会を盛り上げてくださり本当にありがとうございました。

保育士 田中 英美



10月19日(土)に遠足でしながわ水族館に行ってきました。初めて見る大きいお魚や水槽に乳児さんも大興奮でした。アシカやイルカのショーもゆっくり見ることができ、みなでお昼寝の時間も忘れて釘付けになっていました。

大きい会場でこどもたち全員揃って焼きそばパンやクリームパン等を食べた昼食は、普段とは違った雰囲気を感じながら、みんないつもよりもたくさん食べていました。

帰りのバス車内では眠ってしまっている子もいましたが、程よい疲れで気持ちよく眠りにつけていた様子でした。

保育士 丹後 絵里



しながわ水族館に遠足へ行きました。バスの中では歌を歌って楽しんでいる子や初めてのバスに少し緊張している子など様々でした。

水族館の水槽を泳いでいるたくさんのカラフルなお魚を見つけると「おさかな、おさかな」と水槽に顔を近づけて、大人が呼んでもずっと見つめ続けていました。また、ふれあい水槽では冷たいお水に初めは手を入れるのを嫌がっていた子どもも、一度やってみると自ら何度も挑戦して魚たちとたくさん触れ合うことが出来ました。

帰院後も「〇〇さんとおさかなみた」と楽しそうに話してくれる子どもたちの姿がとても思い出に残りました。

保育士 山崎 友絵



## 季節のレシピ～かぼちゃの茶巾しほり～

管理栄養士 寺沢 彩歌



かぼちゃの黄色は、体に必要な栄養素ビタミン A や食物繊維を含んでいます。お子さんの発達に合わせて、かぼちゃのつぶし加減を変えてもいいですね。

チーズや干しぶどうを入れてもおいしくいただけます。

【材料】 2人分

- ・かぼちゃ 200g (かぼちゃ 1 / 8 個分)
- ・A 牛乳 小さじ 2
- 砂糖 小さじ 1
- バター 6g



【作り方】

- ① かぼちゃは皮をむき小さくカットする。
- ② 耐熱皿にのせ、水を小さじ 2 杯ふりかけ、ラップをふんわりとかけてレンジで 600w、4 分程度加熱する。
- ③ A を②に入れ、混ぜながらフォークでつぶす。
- ④ 一口大になるくらいの量をラップで包みしほり、お皿に並べてレーズンを上に飾る。

## お楽しみランチ



10月18日の昼食はハロウィンメニューでした！

子どもたちにハロウィンを楽しんでほしいという願いを込めて、キーマカレーにミッキーやお星さまで型取りしたご飯を飾りつけてみました。

可愛い見栄えに子どもたちもワクワクして「ミッキー！」

「おほしさま〜！」と、思わず手づかみで食べていました。

これからも、もっと子どもたちが季節の行事を感じて、楽しく食べられるように工夫していきたいです。

管理栄養士 寺沢 彩歌



## 子どもたちの様子



お食い初め  
大きなお魚  
すごいなあ〜

見てみて〜  
かっこいいでしょ？

小麦粉ねんどで  
何つくろうかなあ？

芝の上でも  
いっぱい  
ハイハイ  
できるよ

## ～ 済生会関東ブロック災害対応訓練に参加して ～

今年すでに悪天候による大規模災害が発生し、今後首都直下型地震の到来も予想されています。公共施設による災害対策の体制整備は、早急に対応すべき事項の一つです。11月23、24日に関東近郊にある済生会の病院や福祉施設集まり、済生会関東ブロック災害時対応訓練を行いました。病院も含めた福祉施設の災害時における動きや、自らがDCAT（災害派遣福祉チーム）として活動するときのための情報を、演習を交えて学習することが出来ました。



訓練は済生会中央病院が主幹となって、関東圏の病院や、介護老人保健施設、児童養護施設など40以上の多種多様な施設の代表者が集まり、実際の災害が起きたときに、どのように連携をとるか考えられたもので、当乳児院としても、毎月行っている防災訓練の、避難したその先の生活を考えさせられる良い機会となりました。



災害は想定を超えて起きる場合も多いですが、あらゆる事態に臨機応変に対応し、第一に子ども達の安全を守れるよう、そしてときにはDCATとして、地域へ福祉施設の力を還元できるよう、今後もこのような機会には積極的に参加し、精進していきたいです。

看護師 新居田 佳祐

## 心 理 士 だ よ り ～ 音 楽 や 言 葉 は … ～

ある秋の夜、子ども達に素晴らしい贈り物がありました。オーボエ、ヴァイオリン、ピアノによる音楽会です。それぞれの曲のメロディは、CDなどで知ることができます。でも、音楽会では演奏家の皆様が大切なものを目の前の子どもたちに届けてくださったのです。「子どもはまだ赤ちゃんで、意味がわからないのに歌や絵本はなぜ必要ですか？」「私たちは外国の言葉を使うので、子どもに正しい日本語を覚えさせるために、なるべくテレビを見せたいのですが…。」

コミュニケーションとは、思いをこめて相手に伝えることだと、私の先生が教えてくださいました。難しい意味や内容、正しい発音や文法の前に、土台に、伝えたい気持ち、届けたい思い、感動のやりとりがあるのでしょう。そうであれば、どんなに小さな赤ちゃんにとっても、音楽や言葉を耳にすることが、そして感じる事が、何よりの心の栄養になるのだと思います。生まれたばかりの赤ちゃんが、機械音と人間の声の区別をつけられるという話を聞いたことがあります。子ども達には本物の音とたくさんの対話の中で育ってほしいと思います。音楽会を多くのお客様と一緒に味わった事も、子ども達の豊かな育ちに繋がる素敵な経験となった事でしょう。

臨床心理士 柴田 薫



### 【苦情等相談窓口について】

当院への苦情は、師長代理、第三者委員又は当院玄関に設置してありますご意見箱（乳児院事務室前）までお願い致します。

苦情解決責任者：乳児院院長 山中一郎

苦情受付担当：看護師長代理 小泉菜穂子

第三者委員：須藤久美 川原邦子

### 【編集後記】

今年も子どもたちと一緒に元気に楽しく過ごし、たくさんの思い出が出来ました。来年もよろしく、お願いいたします。（S・O）

すくすく 第70号 2019.12.31. 発行  
発行人 山中 一郎 編集委員 小泉 菜穂子  
山口 美穂 武田 典子 田中 英美 尾関 朔実